

中海・宍道湖・大山圏域 8 の字ルート研究会 中間報告

「あたかも一つのまち 住みたくなる中海・宍道湖・大山圏域」の実現をめざして

～高規格道路ネットワークをいかした圏域づくり～



令和 5 年 月 日

中海・宍道湖・大山圏域 8 の字ルート研究会

目次

これまでの経過	1
1. 高規格道路ネットワークをいかした圏域づくりの研究について	2
2. 圏域の現状について	
(1) 構造と人口	3
(2) 産業	6
(3) 防災・安全・安心	12
3. 圏域の交通ネットワーク整備の状況について	14
4. 圏域8の字ルート整備後の影響について	
(1) 4つの視点の整理について	16
(2) 移動に要する時間の短縮が、圏域の経済活動や人々の生活様式に 及ぼす直接的な影響について	17
(3) B/C（走行時間短縮、走行経費減少、交通事故減少）に現れない整 備効果、間接的な影響について	18
(4) 国土としての位置づけを含めた、圏域の新たなデザインについて	20
(5) SDGs、DXの推進等の現状を踏まえた、 カーボンニュートラル、デジタル技術の活用にかかる検討	20
5. 圏域の目標としていく社会像について	
(1) 目標とする社会像	22
(2) 具体的なイメージ	23
6. 今後の広域連携による取組について	
(1) 目標とする社会像へのチャレンジの整理について	26
(1) 縮まる時間へのチャレンジ	27
(2) 深まる交流へのチャレンジ	28
(3) 広がる未来へのチャレンジ	29
7. 高規格道路ネットワークをいかした圏域づくりについて	31
今後に向けて	32
【参考】 アンケート調査回答内容一覧	35～50

